



碧南ロータリークラブ週報

第2186回例会 平成15年8月6日(水) 雨. 最高35℃. 最低25℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度
国際ロータリーのテーマ
手を貸そう



Lend a Hand

● 国歌斉唱

君が代

● 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

高浜RC 上井善美君 深谷幸則君



卓話をされた山下君（左）と岡本君（右）

会長挨拶

皆さん、こんにちは。あっという間に7月も終わり、お盆のシーズンに入ってきました。目が回るほど忙しい時のたとえに「盆と正月がいっしょに来る」と言いますが、私共僧侶にとってお盆は非常に忙しいシーズンであります。

僧侶の衣装は、正絹・絹・紗と生地をシーズンで使い分けています。夏は蝉の羽のような紗の生地の衣装を着けますので一見涼しそうに見えますが、襦袢・白衣・衣・袈裟の4枚は着けなければいけませんので見た目以上に暑くしっかり汗をかいてがんばっております。

お盆には「お施餓鬼」という先祖供養をいたします。お経の中に盂蘭盆経というものがありまして、それによりますと、お釈迦様10大弟子の中のおひとり目連尊者というお方が神通力を使って自分の亡くなった母親がどのようにしておられるのかということをご覧になったところ、餓鬼道に落ちて逆さ吊りにされ倒懸の苦しみをうけておられました。このことをお釈迦様に相談しましたところ、山海の珍味をお供えて「お施餓鬼」の供養を行えばお母さんは餓鬼の苦しみから救われると教えられました。そこで、目連尊者は「お施餓鬼」の供養をし、亡き母の苦しみを救うことができました。このこととお盆にご先祖様が帰って来るといふ日本の民間信仰とが混じり合い、お盆には「お施餓鬼」の供養が行われます。

ということでこのお盆シーズン、僧侶たちは「お施餓鬼」に走り回っております。碧南には施餓鬼組合という5ヶ寺の組合がありまして、お互いのお寺の「お施餓鬼」をお手伝いしあいます。毎年8月の6日7日は海徳寺さん、9日は妙福寺、10日は常行院さん、11日は清浄院さん、14日15日は称名寺さんと決まっており、朝8時からお手伝いに行く慣わしになっております。私も小学校4年生位から海水浴・蝉取りと遊んでいる友達を横目で見ながら少しのお小遣いに釣られて訳もわからずお手伝いに行っておりました。当時、お師匠さんたちは12時から14時までの「お施餓鬼」の昼休みに一杯飲んでお風呂に入って浴衣を着て昼寝をするという悠長な時代がありまし

た。近頃は私のように例会に出席したり檀家さん参りに走ったり、それぞれ時間を有意義に過ごしておりますが、今となってはその時代がなつかしく思います。

幹 事 報 告

大正館さんにお中元のお心遣いを頂きました。

定例理事会を例会終了後開催します。併せて45周年第1回実行委員会を理事会の中で行ないます。

去る7月30日新入会員オリエンテーションを12名の参加で行ないました。

次週例会（8月13日）は定款第5条第1節により休会いたします。

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 75 名（内出席免除者 15 名）出席者56名	
出席対象者 46/60名	出 席 率 76.7%
欠席者19名(病欠者0名)	前々回修正出席率 93.3%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

新美 孝君 当社第42回定時総会及び取締役会において代表取締役会長就任し、社長を長男の雅浩が就任致しました。今後共何分のお引き立て下さいますようお願いいたします。

新美託巳君 毎日、可もなく不可ありませんが、ニコボックス年間予定達成の為、努力致します。

加藤良邦君 今日から盆の行事が始まりました。頑張ります。毘沙門せんべいを頂きびっくりしました。

杉浦成人君 碧南市芸術文化村開村10周年「村まつり」盛大に終わりました。実行委員長を努めさせて頂きました。

竹内光博君 8月のニコボックス発表担当ですので、よろしく申し上げます。

山下 照君 7/30新入会員オリエンテーション有難うございました。

8/6自己紹介させていただきます。よろしく申し上げます。

岡本明弘君 先週の新入会員オリエンテーション、大変お世話になりました。

本日、卓話をさせて頂きます。よろしくようお願い申し上げます。

8月2日富士山頂で御来光を観ることができました。

早退 5件 合計 27,000円

〈親睦活動委員会〉

8月会員誕生日

5日 杉浦 晴彦君 14日 杉浦 求君 18日 木村 克美君 19日 加藤丈太郎君

22日 井上 達夫君 26日 吉井 才司君 27日 杉浦 功哲君 29日 山田 純嗣君

30日 倉内 裕君

奥様誕生日

8日 小林 清君の奥様 キ ヨ様 15日 鈴木昭洋君の奥様 悦 子様

25日 新美宗和君の奥様 雅 代様 28日 岡島淳一君の奥様 綾 子様

30日 鈴木並生君の奥様 まゆみ様

〈IT特別委員会〉

碧南RCホームページの会員のページへのアクセスは8月20日よりパスワードをお手許の資料のように入力して下さい。会社のホームページアドレス、メールアドレスの追加、変更される会員は届け出てください。

卓 話

●私の履歴書 山下 照君

私は岡山県に生まれ高校までそこで過ごしました。その後、大学院卒業後トヨタ自動車に入社

して今日に至っております。私は会社生活30年間のうち、7年間をカナダとイギリスで駐在生活を体験しました。カナダではカローラを、英国ではカローラとコロナクラスの車を生産する会社で、共に生産・物流管理を担当しておりました。ここにいらっしゃる皆様の中には、海外に旅行された方もたくさんお見えになりいろいろなことで海外と日本との違いを体験されていることと思います。しかし旅行者と違って実際に現地で生活するというところでいろいろな面において困難さや驚き、新しい発見等がたくさんありました。生活するということは衣・食・住・医療・子供の学校・隣近所付き合い等々が発生し文化・習慣・言葉の違いの中で対処していく必要があります。大体において発想、思考等が欧米人と日本人とでは正反対のことが多かった気がします。例えばありふれたことですが言葉でも欧米人は最初にYES、NOをはっきり言います。住所、日付も小さい単位から書き始めます。木を切るのこぎりでも日本人は引く時に力を入れて切りますが、欧米では押すときに力を入れて切ります。最近は崩れつつありますが日本のサラリーマンは終身雇用、欧米は転職が当たり前であります。海外の会社で困ったことは、まず転職者の多さです。しかも、優秀な人でいつまでもいてほしい人物が他の会社に移っていくことでした。トヨタの現地会社も当然のことながら、他社からヘッドハンティングしている訳ですから、文句は言えないのですが、ある程度教育・指導し、トヨタのやり方をマスターし、これから部下の指導や会社の発展のために活躍してもらいたいと思っている頃、辞められる訳ですから大きな痛手でした。本人になぜ辞めるのかと聞きますと、異口同音に「トヨタは好きだ。何も不満はない。しかし、自分をもっと成長させる為にチャレンジしたい。」と言います。大体が給料や待遇で2倍程度の条件を出されてお引き止める事はできませんでした。

イギリスではオックスフォード大学を出たそれなりに優秀な課長でしたが「自分はトヨタに入り3年ごとに係長、課長と昇格してきたが3年目の今年、次長になれず他の人が昇格した。別の会社で可能性を探りたい。」と言ってフォードへ替わっていった者もおりました。物づくりは人づくりと言われております。とにかく、人が基本です。辞める事が予想されても、トヨタとしては人の教育を続けざるを得ません。そして、常により高い目標を示し続けて、彼らにトヨタではまだまだ学ぶべき事・やる事がたくさんあることを自覚してもらわなければならないと考えております。また、管理者・経営者の現地化の推進です。最近、現地会社の社長やトヨタの役員にもアメリカ人・イギリス人が就任しております。次に困ったことは、事務員はスペシャリストという名前のおり、自分の仕事は自分だけの仕事と考え、部下の仕事に関しては係長もあまりチェックをしてくれないことでした。時々間違いがそのまま流れて、ひどい時にはラインを止めることになりました。できるだけ係長のチェックを入れる仕組みにしました。最後は、天候悪化やストによる部品欠品対策でした。カナダでは雪、港湾スト、イギリスではトラック業者によるストに悩まされました。イギリスでは、フランス・オランダ・ベルギー・ドイツ・スペインなどから部品を購入しております。ほとんどがフランス・ドーバー海峡のトンネルを経由してくる訳ですが、そのフランスでよくストが発生するものですから大変でした。対策としてはやはり現地人を通じた情報収集と、他の港からのフェリーに巻き変えたり、飛行機の活用等で何とかラインをつなげました。

最後に私の趣味ですが、読書・旅行・散歩であります。読書は経済小説を好んで読みます。幸田真音の「日本国債」、エリヤフ・ゴールドラットの「ザ・ゴール」などです。

一般小説で特に印象深かったのは「プラハの春」「ベルリンの秋」の二連作です。作者 春江一也は外交官として1960年代にチェコのプラハに勤務していたときにソ連軍のチェコ侵入を、そして、1980年代にドイツのベルリンに勤務していた時にベルリンの壁崩壊といった大事件に遭遇して、それを舞台に小説を書いたので、小説とはいえ、当時の秘密警察と反政府運動家の間で繰り広げられる闘い、暗殺計画や陰謀、激動時代の市民の暮らしといったものが手に取るようにわかり、まさに歴史の裏側というか、本当の歴史を垣間見た感じのする作品です。のちにプラハを旅行したときには、この本をガイドブックにして町を歩きましたが、小説の場面・場面が思い起こされ、当時の人々の熱き思いが感じられて、大変記憶に残る町となりました。

また、プラハは中世の面影の残る大変美しい町でもあります。まだ行かれていない方には是非行かれることをお勧めいたします。また、変わった読書体験として、イギリスでお屋敷の庭の一

角で、シェークスピアの「マクベス」を見ながら日本語で「マクベス」を読んだ、ということがあります。シェークスピアの地、英国で、広い庭の芝生にくつろいで座り、舞台はすぐ前の芝生や木、雰囲気は申し分ありません。せりふはどちらも原作に忠実で、日本語で読みながら少し古い英語を聞きながら同時に目の前で展開されるという、視覚的・音声的読書でありました。まあ、これは一般的読書というより“観劇・お芝居を観る”といいますが、私には貴重な読書体験でした。最後に散歩の趣味ですが、ただ歩くだけでなく美しい花や木々を眺めながらの散歩が好きです。特にイギリスの各家庭のイングリッシュガーデンを見ながらの散歩は思い出深いものがありました。各家庭それぞれに自分の主張・個性を生かした工夫が感じられます。手入れもよく行き届いて見飽きることがありません。途中、所々にあるパブでビールやアイリッシュコーヒーを飲むのも楽しみの1つでした。

これで私の履歴書を終わらせて頂きますが皆様方のように特に秀でているものもありませんがめぐり合わせでこのような立派な碧南ロータリーに入会させて頂きました。ここで皆様方との出会いを大切にロータリー活動に積極的に参画し、碧南市民の一員として地域発展、及び世界人類の幸福・平和への貢献というロータリアンとして恥ずかしくない生き方をしていきたいと思っております。今後みなさまのご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

●私の履歴書 岡本明弘

新入会員として、私自身を知って頂くということで3つに分けて話をさせて頂きます。一つは学生時代にやっていたスポーツの事、一つは大学卒業後の職業の事、最後に頭の方法として趣味的に行なっておりますウォーキングの事の3つです。

まず、自己紹介をさせて頂きます。私は、昭和28年9月13日生まれ（1953年）で母親からは、大型台風13号の直前に生まれ、当時生まれてすぐ台風がきて大変だったと聞いています。現在49歳の巳年生まれです。家族は家内と高校2年生と中学3年生の男子2人と母親と私の5人家族です。仕事は上下水道用の水道管をダクタイル鋳物で製造し、全国のユーザーへ直接販売しています。水道管といっても、家庭用のもではなく道路の下に埋設する本管でありまして、水道管で直管という真っ直ぐな管に対して、曲がったり十字になったりしている異形管を専門に造っています。その意味では、日本の飲水の水道管路を継持する為に、水道用異形管を製造して提供する事によって社会的な責任と貢献をしているかと思っております。

さて、1つ目の学生時代にやっていたスポーツの事です。私は高校、大学とハンドボールを7年間やってきました。昭和35年碧南市立大浜小学校に入学し、昭和41年に碧南市立南中学校に入学しましたが、当時は食糧事情もありまして大変やせていました。腰まわりも細く折れてしまう程でした。南中学時代は軟式テニスをやっていましたが、スポーツを本格的にやりだしたのは昭和44年西尾高校へ入学してからであります。当時の西尾高校はハンドボールが強く、校内でもハバを効かせていて、強くてきつくて、こわいイメージのクラブでありました。私自身は全くの初心者でしたが、とにかく毎日毎日グラウンドを走り、ハンドボールのノックであるチンコロやうさぎ跳びを徹底的にやって今でもはっきりと悪夢のように記憶に残る指導をして頂きました。特に夏合宿の時は、合宿の階段をはって登るまで鍛えて頂きました。大会成績はあまり褒められた成績は上げられませんでした。運動能力と体力はついたなと思っております。今でも多少くらい無茶をやっても大丈夫だと思っているのは高校時代のベースがある為と思っております。昭和47年に愛知大学に進み、ここでもハンドボールをやりました。当時、愛大豊橋校舎はハンドボール部がなかったので最初は身体が少し過激なスポーツを好むようになっていた為に、ラグビーでもやろうかと思っておりましたが、高校時代西三河大会で対戦していたハンドボール仲間と部がないならハンドボール部を作ろうと話をし、最初はハンドボール同好会から始めて、部に昇格させて愛知大学リーグに参加して4年間やってきました。インカレには出場できませんでしたが、西日本の大会には出場できましたが、1回戦で桃山学院大学に敗退しました。ハンドボールをやっていたおかげで、色々な部分で経験と体力、熱き燃えるもののベースを作ってくれたと思っております。次に大学卒業後の職業の事です。卒業後はすぐに現在の会社に入社せずに、就職活動をして、昭和51年に名古屋の子供用の雑貨を扱う卸会社に入社しました。全く今の仕事とは180度違

う職業でありまして、社会人としての第一歩は卸会社の営業からスタートしました。営業の仕事は、毎月毎月の営業数字が厳しく、その中で自分なりに、いかにして自社の商品売るのかとか、毎月コンスタントに数字を維持させていくにはどうしたら良いのかを色々やってきました。数字の厳しさと、売れる楽しさを経験させて頂き、5年半名古屋の会社で大変お世話になりました。昭和56年11月に幡豆工業に入社して九州工場、九州営業所、そして、碧南鑄造と現場を経験して、昭和58年から幡豆工業本社工場業務部購買担当として水道の仕事を始めました。急にメーカーの時間管理の中に入って身体が順応するまで非常に時間のかかった事を記憶しております。私は父親が亡くなってバトンタッチを受けるまでは、主に事務畑をやってきており、総務、人事、労働組合交渉、情報システム開発、経理、財務をやり、平成8年にトップ室を作ってから、会社全体とグループ会社もみるようになり、現在に至っております。

最後に、ウォーキングの事をお話したいと思います。私とウォーキングの出会いは今から4年前でありまして、会社でお取引しています金融機関の次長さんの「100キロを完歩」したという一言がきっかけでした。実際に始めたのは、健康のためというよりは、むしろ、頭の整理（頭健康）として始め、誰にも邪魔されない時間、考えをまとめる時間として歩いていましたが、段々と歩く楽しさが解るようになって来まして、今は自宅を基点として、自宅周辺の3キロコース、あおいパーク周辺の6キロコース、川口町堤防周りの10キロコース、西尾の妹の自宅までの15.5キロコース等の約10種類程のコースを自分なりに作って楽しみながら歩いています。最近、チェックポイントを決めている為、今日は1分程度遅いので身体の調子が悪いのかとか、考え事をし過ぎているのかとかがチェックできるようになってきました。人間の身体は不思議なもので、継続する事によって無意識のうちに、ほぼ正確にラップを刻んでくるものだと感心しております。いずれにしましても、ウォーキングのおかげで、時間がある時は、近い場所へは車を使わずに歩いていくようになりましたし、歩く事によって身体に自信ができてくるようになって考え方も前向きになってきたんじゃないかと思っております。これから先もできる範囲で継続できればと考えております。

ロータリークラブに入会させて頂き、また「新たな自己の発見」ができるのではないかと考えております。会員の皆様方のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

次回例会案内／8月27日（水）「地球環境あれこれ」

碧南地球村 鈴木明美氏